

大学入門講座 (Introduction to University Education)

大学入門講座 (医・保健) (Introduction to University Education)

(医(保))

教務委員会委員長/医学部 保健学科, 学科長/医学部 保健学科, 教務委員会委員/医学部 保健学科, 学生委員会委員/医学部 保健学科

1 単位 前期 集中

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

【授業の目的】 大学における学びは, 自ら健康に留意し, 将来自分を活かす道を描きながら自主的な学習態度を培うことが必要である. そのための基礎となる知識や情報を提供する.

【授業の概要】 大学の授業科目の構成と特殊性, 自己の将来の目標に向かうための学習方法, 先輩たちの大学生活の過ごし方に関するメッセージを伝え, 倫理観とマナーを培いながら大学生活を過ごす一助とする.

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 大学で学ぶことを明確に描き, そのための目標を立て自主的に専門性を追求する学習態度を身につけることができる.

【授業の計画】

1. 大学で学ぶ意味
2. 身体とこころの健康を保つために
3. 授業で求められること, レポートの書き方, ノートの取り方
4. 学習および大学生活における有益な情報を得るために
5. 先輩 (卒業生等) からのメッセージ
6. ワークショップ形式による先輩 (在学生) からのメッセージ
7. 卒後の進路と将来像を描く

【教科書】

- ◇ 吉野源三郎:君たちはどう生きるか, 岩波書店, 1989.
- ◇ 原 孝:大学で「自分」を見つけたー社会人学生と若い学生はなぜ群れ合ったのかー, プレジデント社, 2003.
- ◇ 安岡高志ほか:授業を変えれば大学は変わる, プレジデント社, 1999.
- ◇ 小笠原 喜康:大学生のためのレポート・論文術, 講談社現代新書, 講談社, 2002
- ◇ 樋口 裕一:やさしい文章術ーレポート・論文の書き方, 中公新書ラクレ, 2002
- ◇ 河野 哲也 :レポート・論文の書き方入門, 慶応義塾大学出版会, 2002
- ◇ 戸田山和久: 論文の教室ーレポートから卒論まで, NHK ブックス
- ◇ 野矢茂樹: 論理トレーニング 101 題, 産業図書

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 授業の参加態度, レポートなどにより総合的に評価する

【再試験の有無】 無 (欠席の場合, 課題のレポートを課す)

【受講者へのメッセージ】 自己の専門性を追求するため, 目標を立て有意義な大学生活を過ごしましょう.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220688>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 教務委員会委員長

Introduction to University Education

Introduction to University Education

(医(保))

Chairman of School Affairs / SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, FACULTY OF MEDICINE, Chairman of Department / SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, FACULTY OF MEDICINE

Committee Member of School Affair / SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, FACULTY OF MEDICINE, Committee Member of Student's Health and Welfare / SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, FACULTY OF MEDICINE

1 unit 前期 集中

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

Target) 大学における学びは、自ら健康に留意し、将来自分を活かす道を描きながら自主的な学習態度を培うことが必要である。そのための基礎となる知識や情報を提供する。

Outline) 大学の授業科目の構成と特殊性、自己の将来の目標に向かうための学習方法、先輩たちの学生生活の過ごし方に関するメッセージを伝え、倫理観とマナーを培いながら大学生活を過ごす一助とする。

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) 大学で学ぶことを明確に描き、そのための目標を立て自主的に専門性を追求する学習態度を身につけることができる。

Schedule)

1. 大学で学ぶ意味
2. 身体とこころの健康を保つために
3. 授業で求められること、レポートの書き方、ノートの取り方
4. 学習および大学生活における有益な情報を得るために
5. 先輩 (卒業生等) からのメッセージ
6. ワークショップ形式による先輩 (在学生) からのメッセージ
7. 卒後の進路と将来像を描く

Textbook)

- ◇ 吉野源三郎:君たちはどう生きるか, 岩波書店, 1989.
- ◇ 原 孝:大学で「自分」を見つけたー社会人学生と若い学生はなぜ群れ合ったのかー, プレジデント社, 2003.
- ◇ 安岡高志ほか:授業を変えれば大学は変わる, プレジデント社, 1999.
- ◇ 小笠原 喜康:大学生のためのレポート・論文術, 講談社現代新書, 講談社, 2002
- ◇ 樋口 裕一:やさしい文章術ーレポート・論文の書き方, 中公新書ラクレ, 2002
- ◇ 河野 哲也 :レポート・論文の書き方入門, 慶応義塾大学出版会, 2002
- ◇ 戸田山和久: 論文の教室ーレポートから卒論まで, NHK ブックス

◇ 野矢茂樹: 論理トレーニング 101 題, 産業図書

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 授業の参加態度, レポートなどにより総合的に評価する

Re-evaluation) 無 (欠席の場合, 課題のレポートを課す)

Message) 自己の専門性を追求するため, 目標を立て有意義な大学生活を過ごしましょう。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220688>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Chairman of School Affairs